FREE
ご自由に お持ちください。

No.819
2021 December
12

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

県内初！林業労働災害レスキュー訓練を開催しました

被災者の救出訓練

被災者の搬送訓練

訓練ふりかえりの意見交換

被災者の応急処置訓練

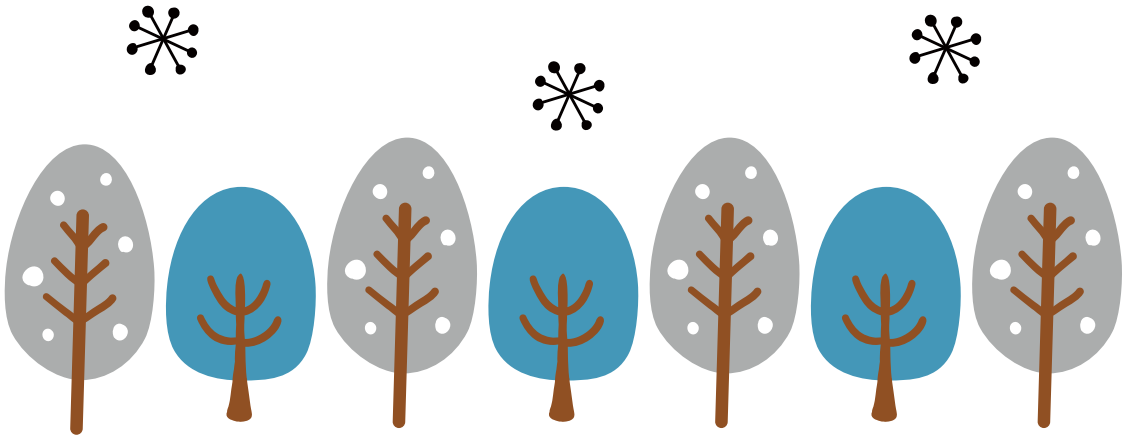
●詳細は5ページをご覧下さい。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（1月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
1月22日㈯	**岐阜県 みどりの少年団 活動発表大会**	●みどりの少年団が日頃の活動について発表します。モリノスでの交流行事も計画しています。 ●時　間：10:00～15:00（予定） ●参加の申し込みを受け付けています。	岐阜県立森林文化アカデミー森の情報センター、モリノス （美濃市曽代） 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL：058-273-7577 FAX：058-273-7547
1月 オンデマンド配信	**岐阜から学ぶ 動物のいま ～野生動物管理の 視点から～**	一般の県民を対象に、野生動物管理の専門家を講師として、野生動物管理の現状や課題についてオンデマンド配信する。 1月テーマ：ニホンザル	国立大学法人　東海国立大学機構 岐阜大学 （岐阜市柳戸1番1） 応用生物科学部付属 野生動物管理学研究センター 寄附講座 TEL/FAX 058-293-3416



目次 Contens

イベントカレンダー（一般向け）……2
令和3年度林政部優良工事施工者表彰式を開催……3
100年先の森林づくりシリーズ22……3
市町村による森林経営管理制度の取り組みをサポートする「地域森林管理支援センター」を開設しました……4
令和2年度森林環境譲与税を活用した県による市町村支援について……4
林業労働災害レスキュー訓練を初開催しました……5
山の歳時記(196) マンネンスギとヒカゲノカズラ……6
山のおじゃまむし(365) ―ぎすちょん虫、キリギリス―……7
ぎふ木遊館通信……8
morinosプログラム紹介!!……9
清流の国ぎふ　森と水を巡る旅……10
中野方小学校みどりの少年団が全国緑の少年団活動発表大会で発表しました……11
山林協会通信②
生活環境保全林「日本ラインうぬまの森」にある一里塚を知っていますか……11
シリーズ：「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」……12
森林と人を活かす知恵(107)
「町の木と人で新しい役場をつくろう。」白川町新庁舎木造化のススメ……13
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"(8)……14
木の香るぎふの施設(105) 若葉第二幼稚園（遊戯室棟）……15
岐阜県森林組合連合会のお仕事 その3……16
研究コーナー
ヒノキ心去り正角3段接着重ね材の強度試験の紹介……17
普及コーナー
岐阜地域における早生樹育成に向けた取組みについて……18
スマート林業通信(18) 林業デジタル機器の紹介動画を作成中です……19
国有林の現場から(62)「森の巨人たち」in飛騨……20
林業者向けお知らせ……21
市況……22

表紙●詳細は5ページをご覧下さい。

令和3年度林政部優良工事施工者表彰式を開催
～ 林政部長表彰 ～

県林政部では、公共工事施工者の技術力に加え、創意工夫や地域貢献活動などの取組みを奨励し、施工者の意欲の増進を図るとともに、建設産業の社会的評価を高めるため、優良工事施工者表彰を実施しています。

今年度は、林政部が発注した工事のうち、令和２年度に完成した187件の中から、林政部長表彰４件及び農林事務所長表彰８件を選定し、令和３年10月27日（水）に、岐阜県水産会館において、林政部長表彰受賞者を対象とした表彰式を開催しました。

受賞されました皆様方には、地域の建設業の模範として、より一層ご活躍いただくことを期待しています。

○令和3年度林政部長表彰の受賞者

受賞者	表彰対象工事	
中部興業㈱	可治工第３１１０号　県単治山事業清水平工事	山腹工事（可茂農林事務所管内）
篠田㈱	恵治工第０１０５号　公共　水源森林再生対策事業 前山地区（金山谷右岸）工事	山腹工事（恵那農林事務所管内）
金子工業㈱	下治第３１０１号　公共　治山施設災害復旧事業 門洞地区工事	山腹工事（下呂農林事務所管内）
㈱清水組	飛治第０１１５号　県単治山工事（松尾２）	治山ダム工事（飛騨農林事務所管内）

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3020) 林政課政策企画係まで

100年先の森林づくりシリーズ22

第３期岐阜県森林づくり基本計画(H29～R3)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「１００年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆生きた森林づくり　技術者及び担い手の育成確保
自伐林家による森林整備への支援

岐阜県では、地域における重要な森林整備の担い手である中小規模森林所有者の方が自ら行う森林の下刈りや間伐などの森林整備や、森林整備と一体で行う作業路整備や獣害防除等の経費に対して補助金制度を設けています。また、個人林家の方には、防護ズボンやヘルメットなどの安全装備品の購入経費も補助金の対象になります。

補助金の要件等は下表をご覧ください。

補助金の申請については、森林整備を実施される方が森林所在地の市町村窓口で手続きいただきます。

なお、市町村によっては、追加の補助金制度を設けている場合もありますので、市町村の林務担当窓口へご相談ください。

項　目	内　　容	備　　考
事業名称	自伐林家型地域森林整備事業	
事業主体	・森林所有者 ・森林所有者から委託を受けた者	
対象要件	・他の森林整備補助事業の対象とならない森林 ・申請面積の合計が 0.1ha 以上　　他	森林経営計画を策定可能な森林は対象外です。
対象経費	・森林整備 ・測量、調査等 ・安全装備品	森林整備は森林環境保全整備事業実施要領（国の規定）に準じた施業が対象です。それ以外の施業（広葉樹林整備等）は、県への事前協議が必要になります。
補助率	森林整備　：事業費の１／２（県費） 安全装備品：購入費の１／２（県費）	事業費は、県が定める標準単価に事業量（施業面積等）を乗じた額が上限です。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3195) 森林整備課整備係まで

市町村による森林経営管理制度の取り組みをサポートする「地域森林管理支援センター」を開設しました

県では、これまで、森林経営管理制度※を担う市町村を支援するため、各農林事務所の林業普及指導員等が、市町村に対し、相談対応や助言等を行ってきました。

この度、森林経営管理制度の取り組みに対する更なる支援強化を目的として、市町村支援の総合窓口となる「地域森林管理支援センター」を開設しましたので、ご紹介します。

※森林経営管理制度：適切に管理されていない森林の所有者に対して市町村が森林経営の意向を調査し、自ら経営管理できない場合は、市町村へ森林の管理を委託していただく制度です。

●支援センターの概要

当センターでは、業務受託者である岐阜県森林組合連合会が培った森林施業や森林境界明確化、森林経営管理制度に基づく意向調査等、実務面での豊富な経験を活かし、専従職員１名のほか相談内容に応じて各部門のエキスパートが、市町村による森林経営管理制度の取り組みをサポートします。

市町村の皆様、是非ともご活用くださるようお願いします。

●主な業務

・森林経営管理制度に関する市町村の相談対応、巡回支援
・制度運用上の課題に関する弁護士等専門家による市町村相談会の開催
・市町村への岐阜県地域森林監理士の派遣に関する調整

●開設場所　岐阜県森林組合連合会内
（岐阜市六条江東２丁目５番６号 ぎふ森林文化センター２階）

●相談受付　午前９時から午後５時まで（土日祝日、年末年始を除く）

●電話番号　058－201－5013（担当者：常富 覚（相談員））

●FAX番号　058－275－4398

●メ ー ル　f-shien@g-moriren.or.jp

●運 営 者　岐阜県森林組合連合会（代表理事会長　洞口 博）

看板を設置する高井峰好 県林政部長（右）と
荻巣雅俊 地域森林管理支援センター長（左）

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3027） 林政課森林企画係まで

令和2年度森林環境譲与税を活用した県による市町村支援について

森林環境譲与税は、令和２年度に全国の地方公共団体に対し400億円譲与され、うち岐阜県には約2億円（県内の市町村には合計で約11億6千万円）が配分されました。本県では、この譲与税を活用して、税の趣旨に基づき市町村の森林整備の促進等の支援を実施しましたので、その内容を一部ご紹介します。

◆新たな森林管理システム総合研修事業

全体事業費：11,615千円（岐阜県地域森林監理士養成研修等を含む）

事 業 概 要：森林管理における市町村の取り組みが期待されていますが、市町村のマンパワー不足や林業等に関する専門的な知識が乏しいのが現状です。そこで、森林経営管理制度を運用するための知識を習得し、未整備森林の解消に役立てていただくため、市町村の実務担当者等を対象とした研修会を開催しました。研修は、森林経営管理制度の概要など基礎的な内容から、講師に弁護士を招き法的な解釈の理解を深める専門的な内容まで、延べ15回開催し、延べ202人の市町村職員に受講していただきました。

事 業 効 果：森林経営管理制度に基づき23市町が森林所有者へ意向調査（2,447ha）を実施し、その内、5市（100ha）でこれまで適切に管理されていなかった森林の整備が実施されました。

森林文化アカデミーで実施した市町村職員研修

岐阜県における森林環境譲与税の使途をインターネットで公表しています。その他の事業内容や事業効果については、県ホームページをご覧ください。

（県HP「森林環境税・森林環境譲与税」：https://www.pref.gifu.lg.jp/page/104589.html）

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3023） 林政課森林企画係まで

林業労働災害レスキュー訓練を初開催しました

去る10月6日（水）には高山市国府町金桶地内、10月8日（金）には本巣市根尾宇津志地内の山林において県内で初となる「林業労働災害レスキュー訓練」を開催しました。

このレスキュー訓練は、労働災害の発生頻度が最も高い林業において、奥山で作業中に被災した技術者を、安全かつ迅速に救出するために必要な知識と手順等を学ぶものです。当日は、消防署職員による指導のもと、間伐作業を想定した現場で実践的な4つの訓練を行いました。

現地訓練

【訓練①：緊急通報訓練】

訓練会場から実際に「119」通報を行い、管轄の消防本部通信指令室のオペレーターからの質問に答えながら、労働災害発生場所や被災者の状況などを伝えました。

【訓練②：倒木の下敷きからの救出訓練】

レスキューマネキン（重量48kg）を用いて人が伐倒木に挟まれている状況を再現し、その状態から周囲の安全確認をしつつ、チェーンソー等を使いながら被災者を安全に救出しました。

【訓練③：身動きできない被災者の搬送訓練】

被災者が一人で動けない場合を想定し、その場で作業服と木杭で作った臨時の担架を用いるなど、最寄りの林道まで搬送しました。

【訓練④：切傷部の止血等応急処置訓練、持参救急箱の点検】

緊急車両が到着するまでの間に、自分達で出来る止血方法や骨折した場合の応急処置訓練を行うとともに、持参した救急箱の中身について消防署職員から指導を受けました。

①緊急通報訓練

②被災者の救出訓練

③被災者の搬送訓練

④被災者の応急処置訓練

訓練のふりかえり

現地訓練の後は会議室に移動して、消防署職員を中心にグループ単位で訓練内容をふりかえる意見交換を行いました。参加者からは、「緊急通報で伝えるべき内容が理解できた。」「レスキューマネキンでも相当重く感じた。実際に作業員を救出する際は相当苦労すると実感した。」「止血方法が昔と変わっていた。感染予防のゴム手袋が必要など新たな発見があった。」などの意見が聞かれました。また、消防署職員からは、「119番通報することで消防機関が始動する。先ずは通報することを最優先し、状況変化の都度、連絡を入れることで救急隊員が適切な対応の準備ができる。」「我々も今回の様な訓練を続けていきたい。」などの話があり、参加した皆さんにとって実のある訓練が実施できました。

意見交換会

今回は、消防の管轄が広い岐阜・飛騨地区を先行して実施しました。次年度以降は、開催地区を増やすとともに定期的に訓練を実施し、緊急時の対応強化と林業関係者の安全意識の向上に繋げていきます。

【森林整備課　担い手企画係】

山の歳時記 196
YAMA NO SAIJIKI

マンネンスギとヒカゲノカズラ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「これスギですか」郡上市白鳥町石徹白で尋ねられました。「それはマンネンスギで、冬でも清潔感ある緑色をしているため、昔は寿司ネタをより美味しそうに演出するためネタケースに入れられていたんだよ」と答えました。

マンネンスギ（Lycopodium dendroideum）はヒカゲノカズラ属の常緑多年生シダ植物で、学名は長らくLycopodium obsurum が当てられていましたが、現在は上記の学名が使われています。

日本では沖縄を除く各地のやや湿った落葉広葉樹林下に生育し、茎の主軸を地中に匍匐させ、直立茎（側茎）を地上に立ち上げて分岐します。和名の由来はスギに似て年中緑色である「万年杉」に由来し、外見から樹枝状になる「タチマンネンスギ」と、扇状になる「ウチワマンネンスギ」に区別されます。地域によってはカズラとか、マンネングサ（万年草）、タチヒカゲ（立日蔭）などの別名でも呼ばれます。

属名にもなっているヒカゲノカズラ（Lycopodiun clavatun）は、沖縄以外の日本に広く分布し、茎は地上を這う匍匐枝とそこから直立する直立茎があり、所々で根を出して広がって群落を形成します。和名は「日陰葛」ですが、実際には日当たりが良い尾根筋や谷筋の鉱物質土壌が露出しているような場所を好んで生育します。

日本のヒカゲノカズラは染色体数が2n＝68とされ、自然界には2倍体～4倍体まで存在し、林床など安定したところには2倍体、裸地や道路法面などの不安定なところには4倍体、そして中間部分には3倍体が混在するそうです。

全草は「伸筋草、舒筋草、寛筋草」等と呼ばれ、筋肉の凝りや関節痛、捻挫に効果があります。胞子は石松子（せきしょうし）とかリポコジュームと呼ばれ、果樹園での受粉作業に用いる花粉の増量剤、防腐剤、線香花火、指紋の検出にも利用されました。

ヒカゲノカズラ類は古生代のデボン紀からほとんど形を変えていないと考えられており、日本に自生するヒカゲノカズラ属はマンネンスギやヒカゲノカズラ、アスヒカズラ、ミズスギ、ヨウラクヒバなど約20種があります。

▲左からアスヒカズラ、マンネンスギ、ヒカゲノカズラ

珍しいことに、石徹白にはマンネンスギとヒカゲノカズラ、アスヒカズラの3種が混生する場所がありました。日当たりの良い山地の地上に生えるアスヒカズラ（Lycopodium complanatum）は、樹木のアスナロに似た側枝であることが和名の由来で、全国各地でレッドデータブックにも記載されるような存在なのです。

山のおじゃまむし

ーぎすちょん虫、キリギリスー【第365回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

7月2日、散歩中にキリギリスを見つけた。しかも、きれいな声で鳴くオスだ。チビちゃん（孫）たちにプレゼントしよう。喜ぶだろう。その笑顔が目に浮かぶ。しかし、近づくだけで逃げられてしまう。手でとるのは難しいので、捕虫網を取りに自宅へ戻った。これで再度挑戦。しかし、捕虫網でも採れない。すぐ藪の中へ逃げ込むのだ。しかし、昆虫採集を始めてから60数年、時には虫採り名人と言われていた私。キリギリスに馬鹿にされているようで、必死になって追いかけたが、やはり駄目。よく、虫仲間では狙った虫が採れた時は「運がよかった」と言う。自分はこの虫に「運がないのか」とあきらめかけた。しかし、そうではなかった。目の前へ飛び出してきたのである。すぐに捕虫網でゲット。成虫になったばかりのオスであった。さらにこの「運」は双子だったのか、数分後にもう一つの「運」。2匹目が採れたのである。しかし、キリギリスではなくよく似ているヤブキリのオスであった。この虫もきれいな声で鳴く。持ち帰ることにした。これを孫たちが観察すれば、この虫に興味がわいてくるだろう。そうなれば私のところへいろいろ聞きに来るので、孫と話す機会が増える。そんなことを思うと、私自身が嬉しくなってきた。

▲キリギリスのオス

×　×　×　×

私がキリギリスを知ったのは小学5,6年生のころ。母の田舎へ遊びに行ったとき、曾祖母が草の上にいる虫を指さして「ぎすちょん虫」がいると言った。イナゴより大きな虫が「ギースチョン、ギースチョン」と鳴いていた。この鳴き声があちこちから聞こえ、合唱のようであった。もう60年以上前のことであるが、このことははっきり覚えている。その後、この虫はキリギリスで「ギギギギー、チョン」と鳴くことを知った。ヤブキリを知ったのは10年後。林業試験場で仕事を始めたころだ。ある人から、この虫の名前を教えてくださいと相談があった。私は見るなり「キリギリス」と答えた。するとその人は「鳴き声が違うのです」と言われた。鳴き声は「ジージージージー」。確かに違う。調べてみたらヤブキリ。姿かたちは同じでも名前が違っていたのである。その後、種名判定は慎重に行うようにした。このお陰で新種を見つけて大喜びをしたこともある。しかし、少し前から小さなものは見づらくなった。目の老化だ。誰もがたどる道とは分かっていても、悲しくなる。こんなことを思いながら、チビちゃんと飼育を始めた。

×　×　×　×

虫かごは100円ショップの小さな容器。ここに1匹ずつ入れた。餌はキュウリ、ナスなどの野菜と煮干し。これを孫たちが、毎日与えた。孫たちはコロナで外で遊べないので、虫かごの虫を時間をかけて観察していた。しばらくして小学4年のNちゃんが「キリギリスが鳴きだしたよ。翅と腹を震わせると音が出てくるけど、どうしてなの」。私は興味がでてきたのだと嬉しくなった。こんなこともあった。キリギリスが鳴かなくなったので、孫たちは、自分たちの好きなバナナ、カキ、ナシ、スイカ、ビスケットなどを与えたらしい。しかし、ナシを少し口にしただけで、元気がない。時期は8月中旬。私は寿命が来たのだと思った。屋外でもほとんど鳴いていないからである。そんな時、娘が「これはどうかな」とリンゴを与えた。すぐに飛びつき食べ始めた。しかも数日後には大きな声で鳴きだしたのである。孫たちは「キリギリスが生き返った」と喜んでいた。しかし、なぜリンゴを食べたら元気になったのか。私はこれが不思議だった。

×　×　×　×

その後もキリギリスは鳴き続け10月になった。それでも元気に鳴いている。しかし、野外ではヤブキリが鳴いているだけ。なぜ、ここのキリギリスは長寿なのか。こんな疑問がわいてきた。ある日私は娘に「なぜ、ここのキリギリスは長生きしているのだろう」と話した。すると娘は「涼しいところで生活し、毎日餌がもらえるからじゃない」。私は唖然とした。言われてみればそのとおりなのである。このことに気付かなかった私。情けなくなった。夏の暑さはキリギリスにとって大敵。何日も続くと体力が消耗し、餌がとれず餓死したり、病気で死亡するものが出てくる。鳥やトカゲ、カエルなどの外敵の餌食になるし、大雨、洪水、渇水など天候異変で死亡するものもいるだろう。しかし、家はクーラーで涼しく、しかも食事つきの生活で、何の不安もない。このようなことで、野外のキリギリスはお盆が過ぎると殆どが死んでしまう。と私は思っている。しかし、我が家のキリギリスは長生きしても、狭い部屋に閉じ込められ窮屈な生活をしている。これで本当に幸せなのだろうか。こんなことを思う。今日は10月25日、キリギリス、ヤブキリとも元気である。この調子では12月になっても生きているかもしれない。しかし、原稿締め切り日は明日。残念だがここでストップとしよう。

ぎふ木遊館通信

<おまたせ！「赤ちゃんひろば」>

開館以来、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて利用を見合わせていた「赤ちゃんひろば」ですが、サーキュレーターや空気清浄機を設置のうえ、７月上旬から人数制限（10 人）を設けて利用を開始しています。

ここは、２歳未満のお子さんとその保護者専用のエリアです。異年齢の子が時には走り回るにぎやかな木育ひろばと違い、適度な距離間を保ちつつ、乳幼児とその保護者が落ち着いて楽しめる空間をつくりました。

子どもたちは厚さ 30mm のスギの無垢板の床に手足を柔らかく刺激されながらハイハイし、枝付きの 80 年生ヒノキを見上げながらよちよち歩きます。

<わらべうた産後ダンス～杉に囲まれて～>

10月からは、赤ちゃんひろばを使って、月に1度「わらべうた産後ダンス」のメニューを開催しています。同じ子育て中の方と一緒に、わらべうたに乗ってダンスをしながら、スギのやわらかなフローリングと木のおもちゃに囲まれた癒しの空間でリフレッシュしてもらう場を提供しています。

まずは、床に車座で座り、おしゃべりです。講師は「木のたまご（木玉）」をバトン代わりに参加者に渡します。時に「木玉は熱いですよ」「氷のように冷たいですよ」と変化を加えながら渡し、渡された方はそれに合わせたリアクションをしながら自己紹介をして、お互いが打ち解けていきます。

その後、抱っこひもで赤ちゃんを抱っこしながら９種類のダンスのステップを覚えていただきました。自分のペースで踊っているうちに、普段使わないインナーマッスルが自然と鍛えられます。

こうした機会を通じて、ぎふ木遊館のファン、ひいては暮らしの中での選択で木を選ぶ人が増えていくことを期待しています。

子育て仲間との出会いの場にもなります

意外といい運動になりますよ！

まあるいつみきminiを大事そうに抱える子。
手のひら、足のうらで木のぬくもりを。

ぎふ木育サポーター養成講座　参加者募集中

木のおもちゃや遊びを通したコミュニケーションやホスピタリティを楽しく学び、「ぎふ木遊館」をはじめ各地の木育拠点や木育イベントでボランティアスタッフとして活動したい方を対象にした講座を今年度は６回開催しています。森林・林業・木材産業に携わる皆様にとっても、目からウロコの学びがあるかもしれません。

今年度は残り２回となりましたのでご興味のある方はお申込みください。

※連続講座ではありません。各回１日の講座です。

日にち　令和4年1月22日（土）、3月7日（月）　受講時間　10:00～16:00

会　場　ぎふ木遊館　木工室

詳しくはぎふ木遊館ホームページの「お知らせ」欄をご覧ください →

やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、“野生のきのこ”に関するプログラムです。毎年、10月下旬から11月上旬にかけて、岐阜県百年公園（関市内）とぎふ清流里山公園（美濃加茂市内）にて実施しています。

今回は、森林文化アカデミーと岐阜県博物館が連携して岐阜県百年公園で開催した「百年公園で秋を見つけよう」というプログラムについてご紹介します。

この森の中で野生のきのこを探すプログラムは、とても人気が高く、今年もキャンセル待ちが出るほどでした。参加者も、お子さんから年配の方まで幅広い世代の方に参加していただきました。

岐阜県博物館の土屋先生が“植物”、森林文化アカデミーの津田先生が“きのこ”の講師となり、森を散策しながら様々な“秋”を見つけていきます。

今年は、9月に入ってから雨が少なく、林床が大変乾燥して、きのこの発生が例年に比べて少ない状況でした。

それでも参加された方々は、どんなきのこが見つかるか、ワクワクしながら、目を皿のようにして木の根元や林床を探します。

朽ち木に生えるコフキサルノコシカケやマツオウジ、林床に半円状に広がるドクベニタケなど、次々に発見していきます。そのたびに、講師がきのこの名前の同定、生育環境や特徴、毒をもっているなど解説していきます。

参加者の皆さんも興味津々です。

このほかにもクチベニタケ、オオワライタケ、チチタケ、ドクツルタケなど15種類のきのこを観察することができました。

今回は、食べられないきのこが多数でしたが、きのこにはいろんな形があったり、きれいな色をしていたり、触ると胞子が飛び出てきたり、野生きのこの観察は楽しいですね。

しかし、危険な毒きのこもたくさんあるので、くれぐれも注意して観察してください。

▲ベニタケの仲間を発見

◀クチベニタケをつついて胞子が出る様子を観察

▲ベニタケの解説をする津田先生

▲ドクツルタケの仲間を観察

こうした体験はmorinosのHPで開催をお知らせしています。新型コロナウイルス感染防止対策の状況により実施しない場合もあります。

興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ　https://morinos.net

YouTube　検索「morinosチャンネル」

開所時間　10:00～16:00

定休日　毎週火・水曜日

morinosHP

YouTube「morinosチャンネル」

森と水を巡る旅

清流の国ぎふ

飛山濃水

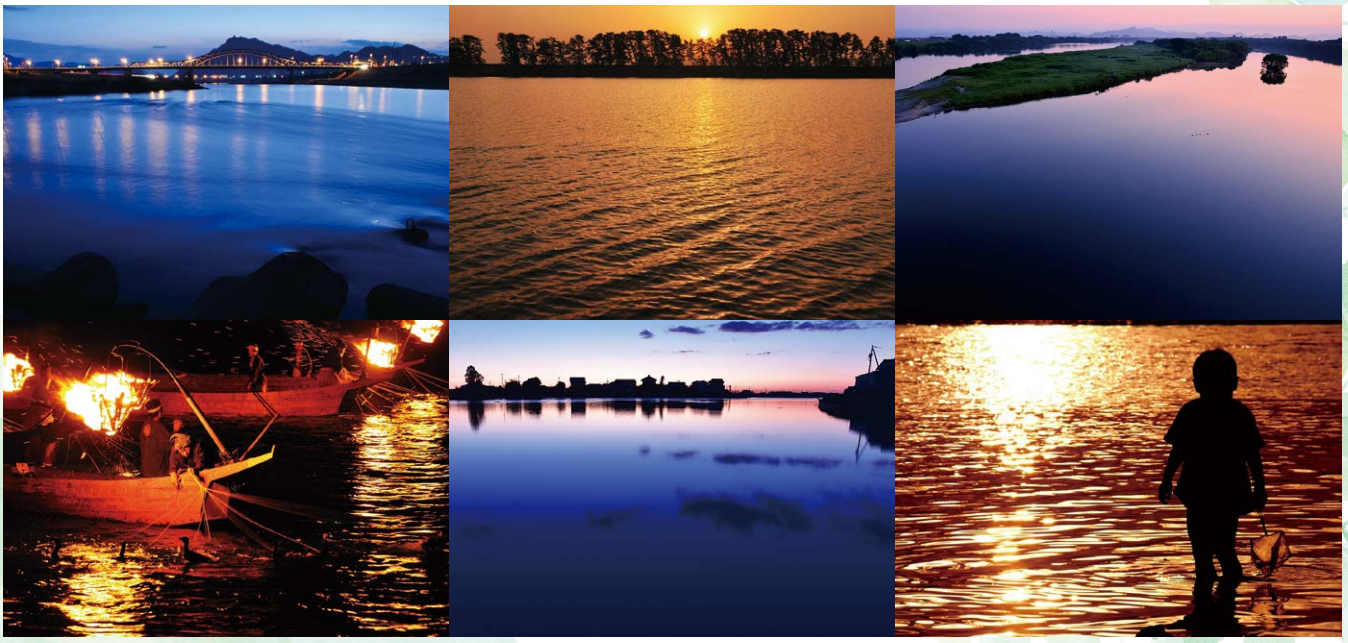
例えば岐阜県を代表する清流、長良川。その長さは約170kmと、ところが郡上の山から始まる水の旅は、わずか2日ほどで伊勢湾に流れ着いてしまいます。私たちは「日本は森と水が豊かな国」と思っていますが、大陸的感覚からすればあっという間に海へ流れ下ってしまう我が国の水は、むしろ「つれない水」と言っていいかもしれません。それ故に、その流域に暮らす私たちは、その水をいかに長くとどめるかに心血を注いできました。傾斜を無くし、延々と水路を巡らせ…それが棚田であり、水田の風景です。

例えば、岐阜県は標高0mから3,000mまで変化に富んだ地形と言われます。なんだか実感がわきませんね？。でも、私たちは朝に家を出発し、無理をすればその日のうちに乗鞍岳（3,026m）の頂に立つことも可能です。仮にこれを地球上で水平に移動したら…、乗鞍岳の山頂付近の植生はシベリアの北極圏に相当します。植生的には実に数千キロに及ぶ大旅行に相当します。

「飛山濃水」の地ぎふ。私たちはそんな土地に暮らしを営んでいるのです。

飛騨山地（飛騨市）	ブナの森（本巣市）	スギ人工林（揖斐川町）
白　山（白川村）	御嶽山（下呂市）	雲　海（飛騨市）

忠節橋黎明（岐阜市）	千本松原（海津市）	木曽川夜明（羽島市）
長良川鵜飼（岐阜市）	大江川（養老町）	長良川残照（岐阜市）



【森林のたより編集担当】

中野方小学校みどりの少年団

が全国緑の少年団活動発表大会で発表しました

10月9日、札幌市の北海道大学で開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、「みどりの奨励賞」に選ばれた恵那市立「中野方小学校みどりの少年団」の山崎絆利（やまざきばんり）さん、柘植暁登（つげあきと）さんが活動発表を行いました。新型コロナウイルスの影響で参加が危ぶまれましたが、無事発表することができました。

「中野方小学校みどりの少年団」は、平成28年に結成し、5、6年生がみどりの少年団員となり、坂折棚田や広大な森林などの豊かな自然を背景に、棚田での米作り、森の健康診断や木の駅プロジェクトなどの森林・林業体験に加え、バイオリン演奏にも取り組み、地域の人達の協力を得ながら多様な活動を行っています。

今回は、「学びたい、先人の思い！　守り続けたい、中野方の自然！」をテーマに1年間の活動の様子を元気よく発表しました。地域の人達が長い間守ってきた中野方の農・林業や自然を団員みんなで学習・体験し、ふるさとを誇りに思い、自分たちにできることを見つけ、次に繋げようとする姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

翌10日の第44回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、北海道の野幌小学校愛林少年団から「木育の玉手箱」が贈られました。

「中野方小学校みどりの少年団」の皆様が緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されることを願っています。

活動発表の様子

表彰（中央が中野方小学校）

中野方小学校みどりの少年団
（後藤校長　柘植くん　山崎くん）

全国育樹祭での緑の贈呈（木育の玉手箱）
中野方小学校（左）　額田中学校（右）

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会　専務理事　黒﨑隆司】

生活環境保全林「日本ラインうぬまの森」にある一里塚を知っていますか

山林協会通信②

生活環境保全林「日本ラインうぬまの森」は、平成4年度に県と各務原市が整備した66haの保健休養の森です。（詳細は山林協会HP〈http://www.g-forestry.or.jp〉のデジタルアーカイブ内の森の楽園シリーズ「日本ラインうぬまの森」をご覧下さい）

ここには、旧中山道が通っており、旧中山道で100番目の一里塚「うとう峠一里塚」があります。一里塚は、旅行者の目印に街道の一里（約4㎞）毎に設置した土を盛った上に樹木（榎、松等）を植えた塚です。

上の写真の石畳部分が旧中山道で、正面の森に入るとすぐに街道左側に下の写真の「うとう峠一里塚」があります。一里塚を示す標柱（江戸時代にはなかったと思いますが）と「市指定史跡旧中山道うとう峠一里塚の歴史が書いてある説明板」がありました。興味のある方は一度現地を訪れて、皇女和宮様も通った旧街道の往時に想いをはせてください。

【山林協会　瀬上】

シリーズ

「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」

県では清流の国ぎふ地域活動支援事業（清流の国ぎふ森林・環境税活用事業）により、各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり活動を支援しています。

こうした団体の活動内容について、連載でご紹介します。

付知町優良材生産研究会

●設立年
・昭和38年

●設立目的
・育林・造林等による森林保育事業、森林保全に関する調査・研究事業、自然環境教育及び普及事業等を行い、自然と人が共生できる、潤いと安らぎのある豊かな社会の実現に寄与し、環境の保全を図ることを目的としています。

●主な活動分野・活動内容
・森林を育む技術の習得と実践及び林業経営の改善
・子どもたちや多くの人たちを対象とした森林・林業教育活動

●令和3年度地域活動支援事業名
・未来を担う中学生への森林環境教育

●事業内容
・中津川市立付知中学校の生徒を対象に木を育て、護るから使うまでの体験を通じて学んでもらうことを目的とした活動です。
①木を学ぶ教育
座学・木と山のお話　6月
②木を使う教育　木の町・付知町の文化である木工の体験　7月
③木を育てる教育
学校林の間伐育林体験　10月
④自然の木を観る教育
裏木曽ひのき備林の見学体験　10月

●事業目標や事業効果
・付知中学校では総合的な学習の時間で、森林と林業・木材・木工技術など地域文化の伝承を目的とした授業を行い、ふるさと学習「付知を知る」として発表しています。

●その他
・「持続可能な人づくり・森林（もり）づくり」を目指して、地域貢献活動や、地域・森林を愛する子どもの育成により、希薄となった地域コミュニティーの再生に寄与するものと考えています。

今後も、次の世代へと受け継がれる取組みを展開していきたいと思います。

問い合わせ先
付知町優良材生産研究会
TEL：0573－83－0018

特定非営利活動法人　自然、生活共生会

●設立年
・平成17年

●設立目的
・自然環境の再生、相互扶助社会の構築及び地域社会の構築のために、全ての人に対して森林整備や生活支援、安全活動などに関する事業を行い、もって社会福祉の増進に寄与すると共に住みよいまちづくりの形成に寄与することを目的としています。

●主な活動分野・活動内容
・間伐事業
・地域振興
・環境教育
・耕作放棄地対策事業
・郷土史跡の保存活動

●令和3年度地域活動支援事業名
・「森と海は一つ」新しい森づくり、川づくり

●事業内容
・地元の歴史（造林等）についての紙芝居の作成
・地元生徒への環境教育
・間伐、除伐、植林
・登山大会の開催

●事業目標や事業効果
・紙芝居作成　講演3回
・森林整備0・6ha（参加者30名）
・登山参加者　50名

寺尾小学校への環境出前講座
「山に実のなる木を植える」

●その他
当団体は平成17年度に特定非営利活動法人として設立しました。
当団体のメインテーマは「森と海は一つ」です。
これまで、関市武芸川地域の５００haの森林の間伐を進める他、山の2箇所の巨石を結ぶ山林遊歩道の整備、寺尾小学校への環境出前講座（「山に実のなる木を植える」等）、ソバの栽培による耕作放棄地対策事業、郷土史跡「石積みシシ垣」の保存活動等を行ってきました。
今後も引き続き、住みよいまちづくりのため、活動を継続していきたいと考えています。

問い合わせ先
特定非営利活動法人
自然、生活共生会　担当：井上
TEL：090－6099－5412

「町の木と人で新しい役場をつくろう。」白川町新庁舎木造化のススメ

岐阜県立森林文化アカデミー　講師●松井　匠

「白川町でも町役場を新しくするんですよ。木造になったらいいなあって思っていてね。」

授業で白川町に行ったときに、町の人とそんな話をしていた。「そうですね、ぜひ木造庁舎にしたいですね」と意気投合していたら、しばらくして新庁舎を木造化するための専門的知見を講義できることになった。森林文化アカデミーは白川町と連携協定を結んでおり、当時の町長を含めた管理職に、木造化のメリットを話し、疑問点の解消をするというものだった。

こんな話をした。

【白川町新庁舎木造化のススメ】

1、「東濃ひのきの町」白川町の特徴

・「東濃桧」の生産地で優良な桧を産出してきた。
・森林率約87％。人工林は桧が主体。町の木は桧。
・主要産業は林業関連産業で、産直住宅建築に関わる従業者が多数を占めている。
・「東濃ひのきと白川の家建築協同組合」は工務店20社で組織され県内最大の建築組合。建築棟数も最大。
・三川地区の林業団地には、白川町森林組合、東濃ヒノキ白川市場協同組合（原木市場）、東濃ひのき製品流通協同組合（小径木加工、土木用木製資材、建築用材の加工流通、JAS、木質バイオマス発電）、東濃ひのきと白川の家建築協同組合と生産から消費まで一貫したシステムがある。

2、木造化することの意義

①地域の木でつくる

庁舎は町のシンボル。地域の木でつくることで長く愛される建物になる。

RCや鉄骨は町外から買うことになるが、木造にすれば構造材を町内に発注でき地域経済の活性化、地域林業の健全化に貢献できる。

②地域の人でつくる

地場の建設業者に中大規模木造建築ノウハウが蓄積。若手大工の育成に寄与できユネスコ無形文化遺産である優れた大工技術の伝承に貢献できる。

メンテナンスまで町外に発注せざるを得ないRCや鉄骨と違い、木造であれば長期的に町内で完結する。

③本物の木ならではの魅力

熱を伝えにくく暖かい手触り。

衝撃を吸収して足腰への負担を和らげる。

光を適度に散乱し目に自然な感じを与える。

香りが気持ちを落ち着かせる。

ダニやカビの繁殖を抑える。

子どもの教育の場で心身の健康に好影響というデータがある。

④環境に配慮

再生可能な資源である。

木造建築として長く使うことは、炭素を固定化し地球温暖化防止に貢献。

町内の材料で輸送時CO_2排出を大幅削減。

3、木造化Q&A（建設コストの比較など）

Q、木造だと高いのでは？

A、RC造を「木質化」するより、初めから「木造」にした方が安い。建物が軽いため地盤改良費の節約も可能。

Q、地震や火事に弱いのでは？

A、建築基準法上はRCと同じ。防火・耐震性能については、木造もRCも同基準で判断され木造でも基準をクリアできる。

Q、耐久性に問題があるのでは？

A、メンテナンスは構造種別に関係なく必要。気候風土を考慮した設計によって、維持管理しやすく長寿命にできる。メンテナンスは町民と職員が一緒になって行うなど、負担ではなく庁舎への愛着につながる楽しみに変えていくことが大切。

Q、材料を準備できるの？

A、可能。白川町であれば十分な材積がある。調達期間を考慮し無理のない工程が低コスト化に。

Q、木材の品質や強度は担保されているの？

A、製材等JAS認証工場は県内に35社（うち4社が白川町）、ぎふ性能表示材認定工場は県内に57社あり（うち4社が白川町）※2021年10月現在

まとめると、

・白川町新庁舎は「地域資源と人材を使い、将来にわたって魅力的なまちづくりに繋がるプロジェクト」
・木造は他構造と比べて決して高価ではない。
・木造は他構造と比べて性能が劣ることはない。
・白川町は木材利用のポテンシャルが極めて高いので木造庁舎建設は十分に可能。

この講義の後、新庁舎建設はプロポーザルコンペで設計者が決定し、現在基本計画が進行中である。町民に長く愛される木造庁舎になることを、心から願っている。

●詳しい内容を知りたい方は　TEL（0575）35-2525　県立森林文化アカデミー まで

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

8

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

里山林整備事業 ～集落、農地等周辺の里山林の整備を支援～

【事業内容】

里山林整備事業は、野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や、生物多様性の保全を図るため、市町村や各種団体等が行う、集落、農地等周辺の里山林整備の経費を支援しています。

【事業実績】

令和２年度は27の市町村において、約310haの森林整備等が進みました。特に、民家や公共施設に倒れる恐れのある危険木の除去はニーズが高く、計画の1.5倍以上の箇所で実施しました。

また、整備後の受益団体等へのアンケートでは95%以上の方から、整備をして「よかった」「とてもよかった」との回答を得ており、地域ニーズに応えた森林整備を実施することができました。

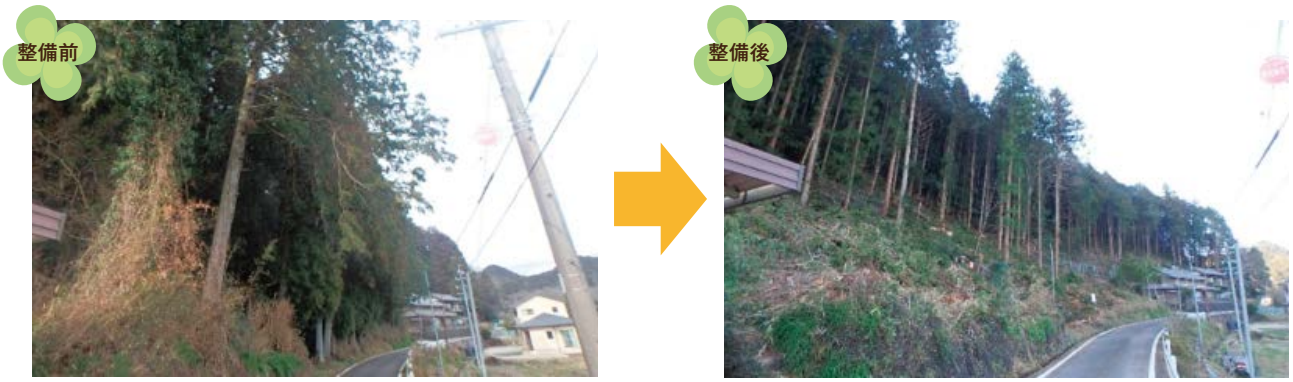
【令和２年度の事業実績一覧】

事業種別	事　業　量	森林・環境税(千円)
侵入竹の除去	0.53ha	244
不用木の除去	190.44ha	38,853
危険木の除去	11.76ha (66箇所)	131,418
バッファーゾーンの整備	92.66ha	63,912
放置竹林の整備	6.23ha	8,441
修景等の環境保全	8.06ha	1,911
森林地域外危険木の除去	3箇所	2,155
施設の整備	1箇所	5,192
既存施設の改修	6箇所	16,024
森林病害虫の防除	90.00m^3	2,978
計	森林整備：309.68ha	271,127

(注) 四捨五入の関係で、計と個々の森林・環境税の合計は合わない。

【実施状況】

危険木の除去実施状況（高山市内）



バッファーゾーンの整備実施状況（関市内）

【恵みの森づくり推進課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係まで

木の香るぎふの施設 105

内装木質化

若葉第二幼稚園（遊戯室棟）

岐阜市村里町15番地

遊戯室全景

施設概要

事業年度	令和２年度
事業主体	学校法人杉山学園
構造 延床面積	鉄骨造　２階建て 520.54㎡（車庫部分除く）
施設用途	幼稚園
木材使用量 使用樹種	県産材使用量　5.90㎥ ヒノキ、スギ
全体事業費	154,000千円
助 成 額	2,930千円
設 計 者	西美濃建築設計
施工業者	株式会社鷲見建設工業
工　　期	令和２年８月から令和３年２月

ルナフェスティバル
（たなばたまつり
兼なりまつり）

外観

施設の経緯

若葉第二幼稚園は、ホールを保育園と共有で使っていた為、遊戯室棟を増築することにしました。園舎は木造で、床と腰壁にも木材を使用しており、木に囲まれた空間で園児たちは毎日学び、生活をしております。新たに増築する遊戯室も、床と腰壁に木材を使用し、園舎と一体感を持たせた空間にしよう、また、遊戯室内に柱のない大空間をつくり、室内どこからでも子供たちの姿がよく見える遊戯室を作ろうと考えて増築しました。

卒園式

ハロークリス！（英語あそび）
緊急事態宣言中のため、動画配信サイトを通じて遠隔レッスンを実施

ここに注目！！

広々とした遊戯室のフローリングには18mmのヒノキ、腰壁には12mmのスギを使用し、木に囲まれた明るくて温かみのある空間です。

利用者の様子

遊戯室内は柱のない大空間であるため、園児たちが元気にいきいきと遊んでいます。また発表会等の行事では室内のどこからでも見てもらえます。

■問い合わせ先
学校法人杉山学園
TEL 058-271-3696

岐阜県森林組合連合会のお仕事

その3「事件は、現場で起きる？」

■ 岐阜県森林組合連合会　荻巣 雅俊

皆さんは、平成２７年に岐阜県揖斐川町谷汲で行われた全国育樹祭を覚えているでしょうか。今上天皇が皇太子殿下のとき史上初めて「間伐のお手入れ」をされました。皇太子殿下がスギの大木が倒れる瞬間に、感嘆のお声を漏らされたことは広く知られています。これには、今だからお話しできるエピソードがあります。皇太子殿下に間伐をしていただく要望は、開催が決まった平成25 年から宮内庁にお願いし調整を続けておりましたが、開催１００日前になっても、よい返事をいただくことができませんでした。皇太子殿下に、刃物を持っていただき、ヘルメットを被っていただくことは本当に難しい。最後のお願いとして、宮内庁の担当の方に、谷汲まで来ていただき、本番と同じ「間伐のお手入れ」を実際にご覧いただきました。本番と同じ高さ・直径のスギの大木の倒れるさま、寸分たがわず切り倒す技を見て、担当の方が「皇太子殿下にやっていただくべきである。」そういう趣旨の言葉を述べられたことを今でも覚えています。ほどなく、間伐 OK のお許しがでました。多くの関係者のご尽力で「間伐のお手入れ」は、実現したと思いますが、このエピソードもその一つであったと思っています。木を伐るという所作は、日本人の心に響く何かがあるようです。

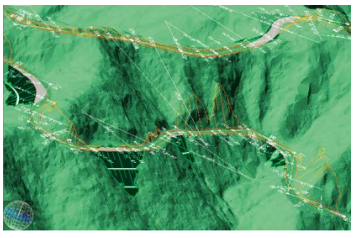
前置きが長くなりましたが、県森林組合連合会（以下、県森連）には、木を伐るまでの段取りを仕事としている部署があります。森林整備部（以下、整備部）です。我が国の場合、木を伐採して搬出する場合、様々な手続きが、必要になってきます。主な項目だけでも、所有境界の確定、木の大きさ・太さ等の調査、作業する道の設計、行政への伐採届 etc、これに行政等から補助を受ける場合は、計画書や申請書の作成等の事務が加わります。これらを、ていねいにサポートする（仕事の一部を代替する）のが整備部の仕事です。

森林調査の様子

これらの中でも、今後需要が高まると予想され、最もやっかいな仕事が、所有境界の確定です。四半世紀前に比べて「山の所有境界」がわからなくなったと誰もが口をそろえます。境界の確定は、森林簿や登記情報をもとに、森林所有者の立ち会いのもと境界を決めていきます。最近は、航空レーザー測量を活用して、樹種の違いや林齢の違いを判別できるようになり境界の根拠資料の精度が上がったと言われていますが、現場はそう簡単ではありません。デジタルデータを駆使し境界を想定した図面を現場で広げても、境界の杭を打つ場所はなかなか定まらないのが現状です。整備部の熟練担当者に言わせると、現場の木や石、先人が残した（素人ではわからない）目印を頼りに、立ち合いの森林所有者さんに境界を説明していくとのこと。熟練者ともなると山に入ると境界線が見えるというから驚きです。山の境界の鑑定は、デジタル情報を駆使する能力と業務経験を活かすアナログ的な能力の両方が必要なのです。現在、山の境界に詳しい地元の方が少なくなっていくことを考えると、森林経営管理制度の推進も含め持続的な森林経営をしていくためには、施業を行う森林技術者の確保・育成も必要ですが、「施業ができるように段取りができる能力」をもつ技術者の育成・確保も必要です。それを担うことのできる整備部の役割が、今後、益々重要になってきます。

このため、県森連では整備部を中心に、これらの能力を評価できる免許･資格の取得にも力を入れています。現在、測量士、技術士、森林評価士、地籍総合技術監理者等のべ７３の免許・資格をのべ４７０名が取得しています。さらに整備部では、ドローンの撮影データから木材の収穫や収益を予想するモデル（３Ｄモデル）の研究や路網をパソコン上でシミュレーションして最適な線形を導き出す研究等 ICT の活用も積極的に進めています。

3Dモデル



路網シミュレーション

最後に、県の第四期森林づくり基本計画骨子案を見ると、森林経営計画認定面積や間伐実施面積等に野心的な目標数字が並んでいます。その目標達成に向け、中核的担い手として、日比野部長代理を中心に、最新技術とこれまでに培った経験・知識を組み合わせ、「事件は現場で起きている。（現場主義）」をモットーに、挑戦を続けてまいります。

ヒノキ心去り正角 3段接着重ね材の強度試験の紹介

岐阜県森林研究所●田中 健斗

はじめに

森林のたより812号にて、輸入材や集成材横架材と同等の強度性能を持ち、安定供給可能な横架材製品の開発を目指し、接着重ね材に関する研究を行っていること、構成材料となるヒノキ心去り正角の製材方法による強度性能比較を行ったことについて紹介しました。今回は、近県での製造事例がない、ヒノキ心去り正角3段接着重ね材（写真1）を試作し、曲げ強度試験を行ったので、結果の一例を紹介します。

写真1　心去り正角3段接着重ね材

接着重ね材試作品の概要

強度試験に使用した試作品は、県内の製材工場と集成材工場に製造委託したものです。岐阜県産6m丸太から心去り正角を2本、丸太の中心軸と平行に製材する「中心定規挽き」で製材し、木材乾燥機で中温乾燥を行いました。乾燥終了後、非破壊で動的ヤング係数（たわみにくさの指標の一つ）を測定し、ヤング係数の近いもの同士となるように接着組み合わせを決定しました。その後、木材用接着剤を用いて接着し、最終寸法120mm×360mm×6,000mmに加工しました。

写真2　曲げ試験の様子

曲げ試験の結果

曲げ試験（写真2）を実施した試作品の曲げヤング係数と曲げ強さの関係を図1に示します。構成材料の動的ヤング係数が高いほど、重ね材の曲げヤング係数も高い傾向にありました。また、無垢材と同様、曲げヤング係数が高いほど、最大荷重から算出した曲げ強さが高くなる傾向が見られました。

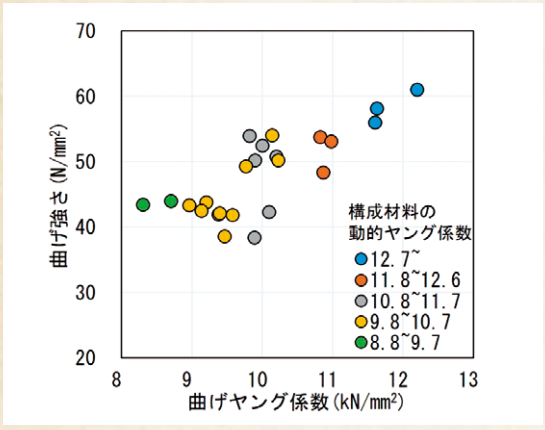


図1　試作品の強度性能の関係

曲げ強さは全ての材でJAS基準を十分に満たしました。しかし、曲げヤング係数については、一部の材でJAS基準を満たさないものが認められました。

おわりに

今回の試験では、節などの欠点から破壊されていたことから、構成材料を選別することで、JAS基準を満たす重ね材を製造することが可能であると考えています。

今回実施した曲げ試験は、試験体数が少ないため、さらに試作品を作成し、強度試験を行い、強度性能の信頼性を高めるとともに、JAS基準を満たさなかった原因を究明し、解決策を明らかにすることで、県内での接着重ね材製造に関する知見を蓄積していきたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-33-2585
森林研究所まで

岐阜地域における早生樹育成に向けた取組みについて

■岐阜農林事務所　吉田 宗平

戦後植栽された人工林が本格的な収穫期を迎え、今後岐阜県においても主伐が進んでいくとみられています。森林資源を持続的に確保していく観点から、主伐後の再造林が重要な課題となっています。一方で造林において、初期作業である植栽や下刈りは多額の費用を要し、この費用の回収ができるまでの期間が長いことが、森林所有者が主伐後の再造林に取り組みにくくなる要因のひとつとなっています。

そうした中、20～30年という比較的短い期間で木材としての利用が可能になるというセンダンやコウヨウザン等の早生樹が、造林樹種の選択肢として注目を集めつつあります。

林野庁でも令和2年に、主に西日本において植栽された早生樹の栽培技術に関する情報をガイドラインにまとめたところです。

岐阜県においても早生樹の活用について調査・研究を進めるために県内各地に試験的に早生樹を植栽し、生育状況等を調査しています。

今回は岐阜地域における早生樹育成に向けた取組みについて紹介します。

早生樹（センダン、コウヨウザン）について

センダンはセンダン科センダン属の落葉高木の広葉樹です。高さはおよそ5～15メートルで、大きいものでは30メートルになります。暖地の海岸近くに自生し、街路樹や公園などでもよく見かけます。

木材はケヤキの代替材として、加工性やデザイン性にも優れているとされています。

▲センダン

コウヨウザンはヒノキ科コウヨウザン属の常緑高木の針葉樹です。高さは大きいものでは30メートル、太さは直径1メートルになるものもあります。中国原産とされ、中国や台湾などでは主要な造林樹種となっており、木材は建築用材などとして広く利用されています。日本には江戸時代に渡来し、暖地によく植えられています。岐阜県内でも公園や寺社などに単木的に植栽されています。

木材は材質試験でヒノキと同等の値を示すとの報告があるほか、強い萌芽再生力など再造林の低コスト化にもつながる樹種とされています。

▲コウヨウザン

山県岩試験地（岐阜市）について

早生樹の岐阜県への導入の可能性を検討するため、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム及び県が、令和元年12月に岐阜市山県岩地内の山林に、センダン及びコウヨウザンを植栽しました。面積およそ0・7ヘクタールに、センダンを約1100本、コウヨウザンを約1130本植え、獣害防止のためのツリーシェルター（Tubex及びサプリガード）も併せて設置しました。

▲山県岩試験地

早生樹現地見学会の開催

植栽から1年半以上経過した早生樹の生育状況を見学しながら、岐阜地域での導入の可能性について検討をするため、早生樹現地見学会を10月14日に開催しました。

見学会には、岐阜農林事務所管内のみならず近隣の地域から、林業事業体や行政関係者など16人に参加をいただきました。また、岐阜県森林研究所の宇敷研究員、渡邉専門研究員に、植栽地を周りながら、センダンやコウヨウザンの特性、成長状況、施業方法などについて説明をしてもらいました。

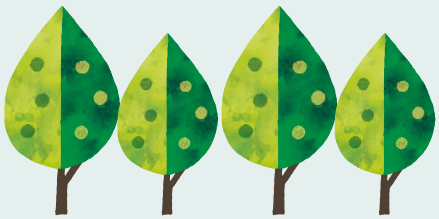
植栽されたセンダンやコウヨウザンの中にはツリーシェルターを越えて成長し、葉を広げているものもありました。

▲早生樹現地見学会

早生樹としての早い初期成長を期待する場合には、植栽する場所の日当たりなどの生育環境について、慎重に検討する必要があると考えられます。

今後について

市町村森林整備計画に造林樹種としてコウヨウザンが記載されましたが、実際に見たことがない人もおり、今回の見学会を参考にしてもらえればと思います。今後も再造林の推進に向けて取り組んでいきます。



●詳しい内容を知りたい方は
TEL 058-214-7409
岐阜農林事務所まで

スマート林業通信 18

林業デジタル機器の紹介動画を公開中です

森林文化アカデミーでは昨年度から労働強度の軽減や重大災害の発生防止、作業の効率化を図るため、デジタル機器を導入して普及研修を開催しています。

各機器の研修はすでに行っているもの、今後行う予定のものもありますが、林業のデジタル機器にはどのようなものがあるのか。一つにまとめて主な機能を紹介し、見た人がさらに深く内容を知りたい場合は個別に紹介できるように、デジタル化の入口となる動画を作成しました。

スマート林業推進係の職員が自ら出演、編集を行った手作り動画ですので、ぎこちない動作や聞き取りにくい表現、簡単な編集しかできない点はご容赦ください。

動画は森林文化アカデミーの公式ユーチューブチャンネルで公開中です。ぜひご覧ください。

紹介しているデジタル機器の内容は次のとおりです。

①森林3次元計測システム（地上レーザ計測器OWL）
②ドローンを活用した測量
③GNSS測量機器
④携帯電波の通信圏外でも通信を可能とするLPWA通信機器
⑤ハーベスタシミュレーター
⑥伐木技術教育VRシミュレーター
⑦現場で地形情報などを確認できるデジタル地図

■動画のアドレス
https://youtu.be/wDiOFniHIjA

動画はこちらからご覧いただけます。

（サンプル）

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー
スマート林業推進係まで

国有林の現場から 62

「森の巨人たち」in 飛騨

7月号で東濃森林管理署管内の巨樹・巨木を紹介しましたが、今回は、飛騨森林管理署管内の国有林に所在する巨樹・巨木を紹介します。

①「宮の大イチイ」は高山市一之宮町の宮国有林にあり、幹周りは690センチメートル、樹高は25メートルあります。

周辺はヒノキ、サワラ、ミズナラなどが生い茂る天然林の中に生育しており、2千年の刻の重みを感じさせる風格のある樹形で、堂々とした幹と様々な着生物を育む大らかさがあります。

▲宮の大イチイ

②「平湯の大ネズコ」は高山市奥飛騨温泉郷の平湯国有林にあり、幹周りは760センチメートル、樹高は23メートルあります。

周辺は天然林でブナ、モミ、カンバなどが生育しており、巨樹の木肌は赤みがかかった茶色、所々に白い斑点が見られ、根元には大きなコブがあります。

▲平湯の大ネズコ

③「荘川のヒノキ」は高山市荘川町の軽岡国有林にあり、旧国道158号線新軽岡峠から国有林林道を約2km経た林道沿いにあります。幹周りは767センチメートル、樹高は24メートルあります。

周辺はヒノキ、ネズコ、ミズナラなどの大径木が混生していて、巨樹の根が地表からむき出しとなり大きく根上がりしています。

▲荘川のヒノキ

④「荘川のヒメコマツ」は高山市荘川町の軽岡国有林にあり、③のヒノキとは約40m離れたところにあります。

幹周りは625センチメートル、樹高は20メートルあります。根元はササや低木で覆われています。

これらの巨木は「森の巨人たち百選」に選定されています。

現地への入山にあたっては、登山と同様自己責任が原則となります。

また、天候や道路情報等を確認し、十分な装備での入林をお願いします。

なお、入林届等の諸手続が必要となる場合や車道、林道を通行し歩道等を歩くことが必要となりますので、散策等をする場合は、事前に飛騨森林管理署に確認をお願いします。

（飛騨森林管理署）

▲荘川のヒメコマツ

森林・林業関係イベントカレンダー（12～1月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
12月2日㈭	**刈払機取扱作業者安全衛生教育**	●講習時間　学科　9:00～15:20 実技　15:30～16:30 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
12月8日㈬～ 12月9日㈭	**木材加工用機械作業主任者技能講習**	●講習時間　8日～9日　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
12月14日㈫ 12月16日㈭ 12月17日㈮	**伐木・チェーンソー作業従事者特別教育**	●講習時間　14日　学科　8:50～17:10 16日　学・実　13:20～16:30 17日　実技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	14日（学科）・16日（学・実） ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 17日（実技） 県森連岐阜林産物共販所（関市倉知字物見山） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
1月13日㈭	**造林作業の指揮者等安全衛生教育**	●講習時間　8:50～16:50 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：11,200円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
1月26日㈬～ 1月27日㈭	**リスクアセスメント担当者安全衛生教育**	●講習時間　26日　林業　9:20～16:50 27日　製造業　9:20～16:50 ●申　込：開催日の2週間前まで ●受講料：12,000円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195

COLUMN

コラム

先日、岐阜市の柳ケ瀬商店街で開催されているサンデービルヂングマーケットに友人と買い物に行きました。サンデービルヂングマーケットは毎月第3日曜日に開催されており、ハンドメイドアクセサリーやスイーツを購入することができるマーケットです。いつもはシャッターが閉まっているお店が多い柳ケ瀬商店街ですが、サンデービルヂングマーケットの日は通路にたくさんの路面店が並び、買い物をするお客さんでにぎわっています。

私は、ハンドメイドのリングが欲しくて買い物に出かけましたが、自宅を出たときからもともと自分がはめていたリングが全く抜けなくなり、消防署で切断してもらうというとても貴重な経験をしました。それから抜けなくなるのが怖くて、結局リングの試着は一つもできませんでした。今後リングを買う時は慎重に吟味しようと思います。

「森林のたより」編集委員　浅野 未来

イベント情報　1月1日発行

連載
- 山の歳時記（197）
- 山のおじゃまむし（366）

地域の人

清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵（108）

木と親しむ
- 岐阜県の公共木造建築（106）

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術
- 研究・普及コーナー

市況情報　**その他**

1月号予定

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎥当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1774回 岐阜共販所 11月2日	すぎ	3m	16～18cm	17,000	—	単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格
		4m	16～18cm	16,000	—	
			20～22cm	17,800	—	
			24～28cm	17,500	—	
			30cm以上	16,000	19,800	
		6m	16～18cm	—	—	
	ひのき	3m	16～18cm	31,200	—	
			20cm以上	26,500	—	
		4m	16～22cm	30,000	—	
			24～28cm	24,500	—	
			30cm以上	23,000	—	
		6m	16～18cm	—	—	
第1356回 飛騨共販所 11月10日	すぎ	3m	16～22cm	15,000	—	
		4m	24～28cm	15,000	—	
			30cm以上	14,500	18,000	
	ひのき	3m	16～18cm	33,000	36,000	
		4m	20～22cm	29,000	—	
			24～28cm	28,000	30,000	
			30cm以上	30,000	43,000	
		6m	16～20cm	36,000	—	
	ひめこ	4m	24～28cm	14,000	—	
			30cm以上	15,000	26,000	
		5m	30cm以上	22,000	31,000	
	くり	4m	24cm以上	15,000	240,000	
第1688回 東濃共販所 第9回ぎふ優良材展 11月11日	すぎ	3m	16～22cm	15,500	—	
		4m	24～28cm	15,500	20,000	
			30cm以上元	14,500	42,000	
	ひのき	3m	16～22cm	32,000	48,000	
			24～28cm	29,000	44,000	
			30cm以上元	27,000	67,000	
		4m	13cm以下	10,000	—	
			24～28cm	28,000	46,000	
			30cm以上元	27,000	83,000	
		6m	18～22cm	32,000	—	
	まつ	4m	22～28cm梁	5,000	—	
			30cm以上元	6,000	—	

木材市場

記念市(第9回ぎふ優良材展)を東濃林産物共販所で開催。県内外の良材多数入荷により盛況な記念市となった。

【商況】

前回に引き続き活発な入札、価格的には踊り場で、今後の展開に留意が必要。各需要先は直近および冬季を見据えた在庫確保のため市況全般にわたり上げ基調。スギ4m中目、尺上　元木良材は応札多数、40cm上元木、2番選木は保合。スギ並材3m·4m併せて非常に需要が高く強含み。3m(16～22cm)直造材が有利。スギ　ラミナ向け3m·4m材も併せて強気。ヒノキ並材、土台向け強含み。 4m中目(24～28cm)も入札旺盛。ヒノキ2.2m元木(26cm上)、直小曲、継続して需要大。合板向けは需要旺盛で在庫不足。特にスギ、ヒノキが在庫底付き。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに在庫不足、需要高。(岐阜)

ヒノキは高止まりで全般に横ばい。特に柱取りは引き合いが強い。スギ並材は売りやすく大径材も売れ行きが好調。ヒメコマツ、アカマツ、カラマツは製材用、合板用、土木用で買い気が旺盛。特にヒメコマツ、アカマツの5.6m(30cm以上)が引き合いが強い。広葉樹は出材量が少ないが良材は応札旺盛。(飛騨)

ヒノキ並材を中心に柱材の人気が集中し高値維持しており引き合いが強く依然強保合。土台は保合。スギ並材は売りやすく大径材は売れ行き堅調も単価は保合。全般的に、ヒノキ·スギ、並材(16～22cm)は、応札旺盛にて保合。ヒノキ元木　良材　2m·3m·4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には、応札旺盛にて保合。ヒノキ並材3m(16～28cm)は、需要があり価格は強含保合。他の高値　ナラ4m×114cm@211,900、トチ4m×84cm@510,000(東濃)

製品卸売標準価格(10月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm) 長	巾	高	等級	m³当り価格	(本(枚)単価)	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	150,000	(6,615)	→
	柱	3000	120	120	特等	140,000	(6,048)	→
		3000	120	120	(東濃桧)特等			
		6000	120	120	特等	180,000	(15,552)	→
Wウッド 集成材	柱	3000	105	105	国産5層	161,000	(5,300)	↗
		3000	120	120	国産5層	158,000	(6,800)	↗

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場　全てKD材)

外材市況(10月期)

1㎥当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	407	米栂	ヘム(アラスカ産)	367
	コースト(目荒)	385～396	米ひば	ポール	378

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

木質ペレット

木材用語一口メモ

木材粉に圧力をかけてペレット状に押し出し成形した木質燃料。樹皮を除いたホワイトペレット、樹皮を含めた全木ペレット、樹皮を主体としたバークペレットの3つがある。湿気や雨に弱く、保管時に上屋が必要。

(参考)日刊木材新聞社　木材·建材用語辞典

木材SCM支援システム
MOLINK
もりんく
木材SCM支援システム「もりんく」は林野庁の補助事業により開発されました。

まずは事業者登録(無料)から!
お試し用にゲスト登録もできます。
検索または二次元コードよりアクセスできます。
もりんく 検索　https://molink.jp

無料でPRページが作成可能
事業者情報を登録することで、事業や製品のPRページとしてご活用いただけます。

事業者を検索
取引先を地域や製品等から検索しコンタクトをとることができます。

便利な業務ツール
木材関連事業者の業務で使える表計算シートや統計資料等をダウンロードできます。

コミュニケーション
事業者間の需給情報共有や取引に関するコミュニケーションを掲示板やチャットでできます。

岐阜県サプライチェーンマネージメント推進フォーラム(事務局:岐阜県木連内)TEL 058-271-9941